



札幌市立柏中学校
第394号(令和7年度第3号)
令和6年8月29日発行
TEL521-2341 FAX521-2343
<https://www.kashiwa-j.sapporo-c.ed.jp>

力を蓄える2学期に

校長

1か月にわたる夏季休業を終え、久しぶりに登校してきた生徒の皆さんから、たくましく成長した姿が感じられました。それぞれの生徒の皆さんのが、夏休みを有意義に過ごしてきたことが感じられます。2学期のスタートに当たり、始業式では次のような話をしました。抜粋して記載します。

今年は、いろいろな影響で気温の高い夏でした。加速する温暖化を食い止めるため、日本、そして世界では温室効果ガスの削減をしたり、ガスの発生と吸収がプラスマイナス ゼロとなることを目指す「カーボンニュートラル」を進めるたりするなど、様々な取組があることを知っていると思います。

なかなか取組が進んでいかない現状があると思いますが、その問題に、私たちはどう対応していくとよいのでしょうか。自分の立場でできることは何でしょうか。誰の力を借りたらよいのでしょうか。疑問が次々とわいてきます。

遠い世界のできごとのように感じている人もいるかもしれません、私たち一人一人の行動が少しずつ社会を動かしていく力になります。自分にできることを考え、仲間と力を合わせて行動していくことが大切です。

皆さんは、将来、社会を動かしていく人となります。まだ中学生ですが、伸び盛りであり、様々な活動を通して、感性と力が育っていく年代です。だからこそ、この中学校の生活の中で、積極的に取り組み、自立した大人を目指して社会に巣立ってほしいのです。

2学期には各学年の旅行的行事や合唱会といった大きな行事があります。是非楽しく、精一杯取り組んでください。活動の中で、様々な問題にぶつかったらある意味では幸運です。なぜなら「課題を見付ける力」、「やりぬく力」や「説得する力」といったこれからを生きるために大切な力が養われるからです。

積極的に全力で取り組めば取り組むほど、様々な課題に直面すると思いますが、皆さんには力を合わせる仲間がいます。力を合わせてやり遂げることで、成し遂げる成果は無限大となるでしょう。やり遂げた後は互いの頑張りを讃え合い、充実感を共に味わいたいものです。

2学期も学習とともに精一杯行事に取り組み、成果を残す素晴らしい学期になることを願って、始業式の話を終わります。

本校の目指す教育活動は、少しずつ新たな試みを取り入れながら実施しております。よりよい教育活動を目指して今後とも力を尽くしてまいります。保護者の皆様、地域の皆様の御理解と御協力をいただく場面も多々あるかと存じます。我々教職員一同、精一杯、子どもたちに寄り添い活動していきますので、1学期同様の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

◆◆ 子どもが活動する場所への私用端末等の取扱いについて ◆◆

札幌市教育委員会では、子ども及び保護者が安心して過ごせる校内環境を一層整備する観点から、教室など子どもが活動する場所へのパソコン、スマートフォン、タブレット、デジタルカメラなどの私用端末や私物の記録媒体(SDカード等の外部記録媒体)の持込みを原則禁止とすることとしました。

ただし、私用端末を業務上やむを得ず持ち込む場合は、管理職に申請し、許可を得ることとしています。

【許可される場合の例】

- 校外学習など学校外での活動を行う場合
- デジタル教材等の提示のみを目的として利用する場合
- 授業を伴う研修会で指導案の閲覧や記録メモをとるなど、撮影を伴わない場合

なお、この決定によりまして、旅行的行事における写真と状況の様子を学校ホームページでお伝えしていましたが、今後は、後日まとめて掲載することとなります。

夏休みの反省と2学期に向けて

～生徒代表の言葉～

3年4組 N

暑かった夏休みが終わり、3年生にとっては進路を決定するとしても大事な2学期が始まります。進路というと既に決まっている人や、これから決めるという人もいると思います。私はこの大切な決定をするうえで後悔をしないためにも、2学期の目標を三つ立てました。まず一つ目は、しっかりと受験勉強に取り組むことです。私はこれまで陸上競技部に所属し、部長として皆をまとめてきました。そのような経験は自分にとってかけがえのないものとなりました。それも8月で終わりを迎えるからには受験に向けて勉強する時期に突入していきます。部活で養ってきた体力や気力を発揮し、集中してより良い密度の高い勉強をしていきたいです。

二つ目は毎日規則正しい生活を送ることです。具体的には、夜は12時前に寝て、朝は7時に起きるように心がけて、睡眠時間を確保すること。食事ではすべての栄養をバランスよく、摂取すること。また、適度な休養を取ることなどです。そのようにすることで、日々の勉強がより質の高いものとなったり、受験本番で一番体が良い状態でテストに臨むことができます。

三つめは、残りの中学校生活を悔いなく、楽しく過ごすことです。3年生に卒業までに残された期間は9月から3月までの7か月間。しかし、冬休みの1か月間を除くと、約6か月と非常に短いです。その間には修学旅行や合唱会といった大きな行事があります。どちらもクラスの団結力が試される行事です。そのため3年間の集大成として、クラスの仲間と協力して成功させ、より良い思い出にしていきたいです。また、この学年の仲間と共に過ごすことができる期間も短いため、ともに楽しく過ごしていきたいです。

受験まで、一日一日近づいていることを実感すると、どうしても本番のことを意識してしまい、不安になったり、緊張することがあると思います。そんなときは、これまで一緒に頑張ってきた仲間とともに励ましあって、困難を乗り越え、毎日を大切に過ごしていきたいと思います